

法人名	八戸医療生活協同組合	代表者	中道 博章	法人・事業所の特徴	・当法人は地域の人々と共に、医療機関・福祉施設との連携を深め、安心して住み続けられる街づくりを目指します。 ・当事業所は介護福祉士、看護職を多く配置することで専門職の知識を生かしたケアを提供し「安全・安心・楽しく」を目指しています。
事業所名	生協小規模多機能多機能みなみるいけの家	管理者	大坂 弘子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1 人	2 人	2 人	人	人	2 人	2 人	1 人	人	9 人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	ご意見でもいただいた、利用者様の生活歴も含めたアセスメントシートを活用し、ケアの幅が広がるよう実践していきます。	新規の利用者様を中心に情報共有の為のシートを、常に取り組みできるように準備して、その内容をケアに生かすようにした。	事業所全職員で事業所自己評価に取り組まれている様子がわかる。経験年数や職種が違うメンバーでばらつきが出ることは予想され、自己評価に取り組む意義を再確認して進めてはどうか？ 個々に合った支援のため、スタッフ間での学習の振りかけりをしていくことが大切だと感じる。	自己評価の項目別では、ご意見のとおりばらつきが出る項目や、一定の職員しか関わっていない項目もあり、事例検討などしながら、深めていきたい。
B. 事業所のしつらえ・環境	感染予防対策は継続していきます。利用者様の安全を一番に環境整理や物品の確認・メンテナンスをしていきます。	一昨年機械浴・ボイラーの交換を実施。快適な入浴や介助する効率的な働きもできている。医療福祉生協連の例年の利用者様アンケートでは、ホールの広さについてのご指摘があった。	ハード面の変更は難しく、小さいながらも良さもあるのではないかな？。 ミーティングの際の場所・時間は利用者様に配慮されているかの視点を忘れず、実践してほしい。	環境には日常的なコミュニケーションやミーティング、室温や採光など大きく影響するため、ソフト面を検討し、居心地の良い環境としていきたい。
C. 事業所と地域のかかわり	「かいごのかけはし」を継続し、地域との交流の場として認知いただけるよう取り組みます。	法人企画の“マルシェ”参加の為に利用者様と一緒に種まきや水やりを実施し、販売することができた。法人事業所と共に神楽やえんぶりなどの郷土の催しを楽しんでいただけた。マルシェでの交流はできたが、地域との交流はできなかった。	掲示板に張り出された行事の中で、利用者様の笑顔が配信されている。今後の“介護のかけはし”に期待する。 事業所をわかってもらうためにも、施設見学・ケアマネへの説明会などあれば良いと思う。	年2回の地域交流の場“介護のかけはし”の企画と事業所周辺での関わりを継続していきたい（マルシェ参加に向けた制作や当日参加での地域交流：職員も交代で参加していく） 活動の中で、事業所の特徴をPRしていきたい。

D. 地域に出向いて 本人の暮らしを 支える取組み	法人での地域活動（支部・班活動）等に参加しながら、地域の実態の把握と地域と協働で取り組める支援について実践していきます。	地域の介護予防教室の講師依頼を受け実践した。利用者様との直接的な関わりではないが、地域の様子を聞けたり、関係性を持てる機会であると感じた。	地域資源として、地域の理容室や（来所にて）とくし丸の利用ができています。 可能な範囲で本人の今までの暮らしが続けられるよう、地域との関わりを工夫してほしい。	利用者様個々に出向いての支援は訪問での安否確認や服薬支援など実施。事業所だけで支えるのではなく、家族を含めた地域資源を結び付けながら、暮らしを支えられる様支援していきたい。
E. 運営推進会議を 活かした取組み	運営推進会議に地域や居宅介護支援事業所も招き、地域で支える仕組みについて、意見交換しながら、安定的な経営につなげていきます。	運営推進会議での意見は事業所でも共有されている。参加についてはスタッフの参加はできていない。	事例検討会を行い、その際可能なスタッフの参加があれば良いのではないかな。	スタッフの参加を年計画で企画・実践し、全体のモチベーション向上につなげる。
F. 事業所の 防災・災害対策	引き続き、定期的な避難訓練の実施や地域の防災訓練に参加したり、BCPの見直しをしながら、万一来に備えています。	感染・災害での稼働状況、避難場所など書面とし、契約時に伝え、同意いただいている。 青森県東方沖地震の振り返りで備品の見直しを含め、BCPを見直した。	災害はいつ起こるかわからない為、訓練による日々の備えやスタッフが協力できる体制づくりを考えていけばと思う。	スタッフの背景も変化するため、定期的に見直し、稼働できるスタッフと業務について確認する。福祉避難所指定であり、事業所・法人とも再度共有していく。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 7 年 9 月 30 日 (: ~ :)
1. 初期支援 (はじめのかかわり)	メンバー	大坂、梅津、坂本 (浩)、山崎、出町、深川、吉田、岡堀、坂本 (富)、中山、大澤、川村、笹本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1 人	9 人	1 人	0 人	11 人

前回の改善計画	情報共有に努め可能な限り支援に活かしているが、変則勤務の中でタイムリーに申し送りノート全体を見る事は限界もあり、付箋を付けるなど工夫してきている。転記が多い事もあり、申し送り事項について工夫が必要である。
前回の改善計画に対する取組み結果	付箋を付けることで、新しい情報はキャッチしやすくなったが、転記が多い状況であり、ICT を活用した方法への変更に取り組みだした。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	1	10	1	0	11
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	4	8	0	0	11
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	7	5	0	0	11
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	4	5	3	0	11

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・声掛けするようにしている。・感情を重視した関りをするよう努めている。 ・席の配置 (環境づくり) に気を付けコミュニケーション取れるようにしている。 ・新規相談に対しては特に早急に対応するよう調整している。体験利用を実施し、事前に施設の雰囲気を知ってもらっている。 ・利用開始前に情報共有するための話し合いがある。普段の会話でも情報共有している。 ・本人や家族が必要としている支援に応じている。送迎時の家族からの質問に対しては一度事業所へ持ち帰り返答している。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・カルテが出ているが、時間内で見ることができない。 ・新規利用者情報について全員で共有する時間がない。変則勤務で共有するタイミングが難しい。 ・スタッフが家族と会える事が少なく、介護者の不安が把握しにくい。 ・タイムリーに申し送りが出来ていない。特に早番、遅番は情報が少ない。 ・家族との関わりが少なく、ケアマネの情報から家族情報を知る事が多い。 ・利用者の行動が大きく変わり対応が難しい時がある。家族は状態の悪化を分かりつつも受け入れたくないのかもしれない。 ・情報の周知をする為に 3 ヶ所に同じ情報を書いていたが、重複業務としては問題になっていた。 ・認知症状は日々変化あり、予定通りにいかない時もある。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・ケアマネ・管理者・主任を中心に、スムーズな支援となるよう（現場スタッフが支援しやすいよう）情報配信していく。 ・現場で必要な情報（利用パターン、送迎時間、薬情報等）の確認を確実にしていく。 ・ワイズマンを使用し申し送りの方法を見直している。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 7 年 9 月 30 日 (: ~ :)
2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)	メンバー	大坂、梅津、坂本 (浩)、山崎、出町、深川、吉田、岡堀、坂本 (富)、中山、大澤、川村、笹本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	7 人	3 人	1 人	11 人

前回の改善計画	利用者の＝したい…は、今日その日の事ではなく、長い人生の中で (余生) どう生きたいか.. とする視点でとらえるようにしているが、見える化していない為、全員で共有できない部分もある。見える化に向けた検討をしていく必要がある。
前回の改善計画に対する取組み結果	エンディングノートの活用を検討してきたが、内容的に合わない部分もあり実現できていない。サービス計画書、アセスメント表を個別のバインダーに挟み、新しい情報を書き込みするよう取り組んでいる。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	0	6	5	1	11
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	0	6	6	0	11
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	0	6	6	0	11
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	1	6	4	1	11

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・出来る事 (個別) に配慮した軽作業が出来ている。 ・多様な状態に合わせて実現できるよう働きかけている。 ・ミーティングやスタッフ間での話し合いがある。 ・利用者様との関りは記録に残しスタッフ間で情報共有、把握するようにしている。次の関りに活かしている。 ・その時の訴えに対しては対応できている。 ・自宅で生活していくために必要なサービス、資源等を考え本人の意向の理解に努めるようにしている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・プランをみない為、目標が分からない。時間がある時にプランを見る。 ・本人の訴え (目標) が分からない。分かる方と不明瞭な方がいる。 ・見える化に向けたツールは検討中。市発行のエンディングノート等も参考にしてきたが、実現できていない。 ・業務に追われ、利用者様とゆっくり話ができない。 ・職員全員で共有できていない部分がある。 ・「～したい」が話せる方は良いが、話せない方は家族の「～したい」でしか分からない事もある。 ・長期目標への関わりが一部の人しかできていない。毎日、安全確保が最優先で長期的な事への実践に結びつかない。 ・認知症が進み、集団でのレクが難しく個別での対応が望ましいが現状は難しい。帰宅願望の強い利用者が多くその他の利用者に関りを持つ時間がない。 ・「帰りたい」利用者への対応。	

・本人の意向でなく、介護者・家族の意向を優先してしまう事もある。

次回までの具体的な改善計画

(200 字以内)

認知症介護チェック表の一部を抜粋し、情報収集した事が見える化する。
個別のバインダーの作成は継続していく。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 7 年 9 月 30 日 (: ~ :)
3. 日常生活の支援	メンバー	大坂、梅津、坂本 (浩)、山崎、出町、深川、吉田、岡堀、坂本 (富)、中山、大澤、川村、笹本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2 人	7 人	2 人	0 人	11 人

前回の改善計画
新たな課題も共有し個別な支援は出来ている。さらに深める為には担当者が意識的にコミュニケーションをとるなどして項目 2～したい・・と合わせて引き出し、チームで支援していく。
前回の改善計画に対する取組み結果
自宅での生活環境は、全く把握できないが必要な情報は都度確認できている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が 10 個以上把握できていますか?	2	2	7	1	11
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	5	5	2	0	11
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	1	8	3	0	11
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	4	7	1	0	11
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	2	10	0	0	11

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・体調不良時や特変時はリーダーに伝えている。 ・ミーティングや申し送りノートの活用で情報共有し支援できている。 ・適切な援助ができるように話し合っている。繊細な変化も情報として挙がっており、予測や対応に活かしやすい。 ・快・不快で表現される方が多い中で、声にならない声を環境面、身体面から予測しケアに努めている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・家での様子が分からない。以前の暮らし等、多くは分からない。情報が少ない。 ・情報量が個別に相違ある為、共有して支援に活かす事が必要。全ての情報を全体でタイムリーに把握することが難しい。 ・1 対 1 でコミュニケーションをとる事が難しい。遠慮して思いを言わない方もいる。 ・ミーティングにおいて、本人の声にならない声を言語化できていない。生活歴や既往歴など複雑すぎている。その時々で異なっており難しい。 ・訪問のない利用者の場合、「暮らし方」の把握が中々できない。問題に直面した時でないと、以前の様子を聞く事は難しい。利用者本人も言語化する事が難しく聞き出せない。 ・個別性を理解するよう努めている。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
項目 2 と合わせて、情報収集、共有をしながら支援していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 7 年 9 月 30 日 (: ~ :)
4. 地域での暮らしの支援	メンバー	大坂、梅津、坂本 (浩)、山崎、出町、深川、吉田、岡堀、坂本 (富)、中山、大澤、川村、笹本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	3 人	4 人	3 人	1 人	11 人

前回の改善計画	引き続き、ご家族の同意が得られる方については近隣に挨拶し穏やかなつながりをもって、可能な範囲で地域と繋がっていく。支援の中で発見した新たな課題に対しては、高齢者支援センターや行政へはたらきかけるなど地域が安全に暮らせるように支援として活かしていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	個々の地域での支援は難しいが、事業所で地域資源の活用や地域活動 (行事、マルシェ) への参加を支援できている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	2	6	4	0	11
② 本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	4	5	1	2	11
③ 事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	1	7	3	1	11
④ 本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	1	6	3	2	11

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・とくし丸や床屋、配食サービス、スーパー、シルバー人材での枝切りの利用。 ・家族からの情報も必要となるが可能な限り本人の言葉や関わりの中から引き出すようにしている。 ・本人の生活スタイル、人間関係を把握している。 ・独居利用者の近隣住民へのコンタクトを取り、異変があった場合に情報共有が出来ている。 ・家族から情報を聞き、事業所での過ごし方を伝えている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・家での様子や民生委員について家族より聞いていない。 ・利用者が直接関わっていない。・家族と同居の場合、あまり踏み込めない事もある。 ・個人情報から民生委員や町内会等の情報がとれない事もある。 ・地域によっては送迎時のみで他の関わりがない。 ・来所時の様子しか分からない。家族と接する時間は限られている。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
継続してご家族の同意が得られる方については近隣に挨拶し穏やかなつながりをもって、可能な範囲で地域と繋がっていく。支援の中で発見した新たな課題に対しては、高齢者支援センターや行政へはたらきかけるなど地域で安全に暮らせるように支援として活かしていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 7 年 9 月 30 日 (: ~ :)
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	大坂、梅津、坂本（浩）、山崎、出町、深川、吉田、岡堀、坂本（富）、中山、大澤、川村、笹本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	4 人	5 人	1 人	1 人	11 人

前回の改善計画	ご本人、ご家族の状況や要望に合わせ柔軟な支援が出来ている。事業所の運営の実態と利用者、ご家族の要望をすり合わせ、さらに柔軟な支援を継続していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	認知症の利用者様が多く、日々変化はあるが柔軟な対応はできている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？	4	5	2	0	11
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	5	7	0	0	11
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか？	4	8	0	0	11
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	5	5	1	1	11

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・個々に合った支援を柔軟に組み合わせ、緊急時・臨時の支援ができた。 ・家族の入院等に対し、訪問調整で支援できた。 ・家族の要望に合わせた支援が出来ていると思う。 ・その時、その瞬間で、本人に合わせた支援が出来るようスタッフと連携を取り合っている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・地域資源の活用が分からない。現在、ご家族様が対応されている事が多い。 ・それぞれ個別対応に追われると、手薄になり柔軟な支援ができていない。（特に帰宅時間帯） ・休みの職員に伝わっていない時がある。リーダーはやる事が多く申し送りの記載漏れがある。リーダーの負担が大きい。 ・集団において、本人の状態やニーズに合わせる事が難しい時もある。 ・モニタリングを基として本人のため、家族のため、スタッフのために状態に応じていないと思う。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
継続して、ご本人、ご家族の状況や要望に合わせ柔軟な支援が出来ている。事業所の運営の実態と利用者、ご家族の要望をすり合わせ、さらに柔軟な支援を継続していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 7 年 9 月 30 日 (: ~ :)

6. 連携・協働

メンバー 大坂、梅津、坂本（浩）、山崎、出町、深川、吉田、岡堀、坂本（富）、中山、大澤、川村、笹本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	2 人	4 人	2 人	3 人	11 人

前回の改善計画	人員体制から会議出席は管理者が中心となっているが、内容は職場会議で伝達して共有するようにしている。地域密着型のカフェ「介護のかけはし」の今後の展開の意見交換していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	限られた職員の参加になるが、地域のワークショップへ参加し伝達共有できている。ケアマネ、管理者を中心に、サービス機関と連携し情報共有している。「介護のかけはし」は今年度、活動できず。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	4	4	1	2	11
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	3	3	1	4	11
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	2	1	4	4	11
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	0	3	3	5	11

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・ケアマネ、管理者が参加している。 ・必要な情報は医療機関と共有できている。 ・運営推進会議は管理者が参加し、内容は報告にて共有できている。 ・コネクト、サイボーズ利用し情報の共有をしている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・地域との交流は限られている。自治会の会議やイベントに参加できていない。業務上、日時が合わない事がある。 ・介護のかけはしの継続的な企画が出来ていない。 ・アピール不足ではないか。 ・地域包括センターの会議や各種機関のイベントに参加したことがない。 ・施設に地域住民が来る事が少ない。見学や回覧板の時くらい。施設に来る機会がない。虹の駅で介護のかけはしをした時は、施設に来た内に入るのか？ ・人員不足、感染症の流行があるため制限がある。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
管理者、ケアマネを中心に会議への参加やサービス機関との連携をし、内容は職場会議で共有していく。年 2 回は「介護のかけはし」を開催できるよう企画していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 7 年 9 月 30 日 (: ~ :)
7. 運営	メンバー	大坂、梅津、坂本 (浩)、山崎、出町、深川、吉田、岡堀、坂本 (富)、中山、大澤、川村、笹本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3 人	4 人	4 人	0 人	11 人

前回の改善計画
ご家族と事業所の共同で在宅生活が継続されている事を再確認し、サービスの内容・頻度など適宜にすり合わせながら支援していく。認知症重度化予防の支援でのケア、PR 活動の拡大により安定的に利用者確保できる事を目指していく。
前回の改善計画に対する取組み結果
新しく、近隣の商用施設にパンフレットを置いてもらう事で、PR 拡大ができた。 在宅生活が継続できるよう、利用者・家族・介護者からの意見を運営に活かしている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか?	4	3	4	0	11
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	4	6	0	1	11
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	3	3	3	1	11
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか?	0	5	3	2	11

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・町内会に入り通信を見て頂いている。町内の草刈りへの参加や、近隣の商用施設にパンフレットを置くなど事業所の情報拡散をしている。 ・地域の行事やとくし丸など、地域との関心を持ちながら運営をしている。 ・都度、事業所としての関わりと、家族にお願いする事を共有し運営に生かしている。意見については聞き入れ活かしている。 ・毎月、掲示板の模様替えをし事業所をアピールしている。 ・利用者、家族からの意見や苦情を謙虚に受け入れ運営に活かしている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・地域からの苦情や意見はない。小規模が何をやっているのか分からない or 関心がないのでは。 ・利用者、家族、介護者からの苦情はあまり聞いた事がない。 ・地域と共同した取り組みが出来ていない。地域のニーズを把握できていない。 ・利用者との関係が難しくなっている。入院者が増えたり、重度化による退所等。 ・虹の箱が活用されていない。設置場所が分からないのではないか。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
ご家族と事業所の共同で在宅生活が継続されている事を再確認し、サービスの内容・頻度など適宜にすり合わせながら支援していく。認知症重度化予防の支援でのケア、PR 活動の拡大により安定的に利用者確保できる事を目指していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 7 年 9 月 30 日 (: ~ :)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 大坂、梅津、坂本（浩）、山崎、出町、深川、吉田、岡堀、坂本（富）、中山、大澤、川村、笹本

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	3 人	7 人	1 人	0 人	11 人

前回の改善計画
法人内研修で運営上必要な研修受講が出来た。個々の目標を支援向上につなげていく。職場内事故報告内容についても迅速に再発防止に取り組んでいく。

前回の改善計画に対する取組み結果
運営上必要な研修は隙間時間を活用し受講できている。重要な研修に関しては全体での振り返りの時間が必要と考える。
リスクマネジメントとしては、時間帯で優先すべき業務を見直して取り組んでいる。

◆ 今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか	6	3	1	1	11
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	3	6	1	1	11
③	地域連絡会に参加していますか	0	5	4	2	11
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	4	6	1	0	11

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・ オンライン研修、職場学習会に参加し伝達講習は継続できている。
・ 事故報告時は速やかに再発防止に取り組んでいる。セーフティ委員会でも対応策を検討している。
・ 個々の目標や希望に合わせた研修への参加を計画しスキルアップを図っている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・ 個々の目標に合わせたスキルアップの為の研修計画が上手くできなかった。計画するが、業務多忙で計画的に実践する仕組み作りが不十分だった。
・ 研修、町内会の集まりに参加できていない。
・ 昼の時間、業務量が多く、目が離れた時に特定の利用者様が問題行動をしている。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)
個人の目標に合わせた研修と共に、利用者様の疾患の理解や I C T の活用に関する学習も実施していく。オンラインでの研修がメインであるが、重要な部分は職場会議内で共通理解して実践に生かしていく。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 7 年 9 月 30 日 (: ~ :)
9. 人権・プライバシー	メンバー	大坂、梅津、坂本（浩）、山崎、出町、深川、吉田、岡堀、坂本（富）、中山、大澤、川村、笹本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	4 人	6 人	2 人	人	11 人

前回の改善計画

人権・プライバシーについては学習を繰り返している。認知症ケアが重要である。事業所内での業務の振り返りをしながら、不適切ケアとならないよう常に意識して実践する必要がある。

前回の改善計画に対する取組み結果

利用者様を通じ身体拘束について見直すことができた。利用者様の行動に対し不適切ケア（言葉）もあるため、定期的に全体での振り返りが必要である。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	身体拘束をしていない	5	5	1	0	11
②	虐待は行われていない	8	2	1	0	11
③	プライバシーが守られている	3	5	3	0	11
④	必要な方に成年後見制度を活用している	3	2	1	2	11
⑤	適正な個人情報の管理ができている	5	5	1	0	11

できている点

200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・身体拘束や虐待の勉強会を反復して行っている。
- ・身体拘束について検証、実践し解除できた。拘束必要時は、個人情報に関する同意書の元適切に対応できている。
- ・プライバシー保護に気を使っている。掲示板や外部に出す手紙等、個人の写真にはスタンプを貼るようにしている。
- ・書類は書庫に施錠管理されている。

できていない点

200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・人員不足時はスピーチロックしてしまう。職場内環境（人員不足・業務多忙）により発生するのではないかな。注意不足もある。
- ・認知症ケアの支援の仕方にばらつきがある。認知症ケアの学習不足。
- ・後見人制度を必要とする利用者がいない。
- ・排泄状況の確認など、スタッフ間のやり取りがプライバシーにかけている。個人情報の管理、尊厳やプライバシーに関する配慮が足りない。言葉の虐待にあたるのではと怪しいものがある。朝のミーティングは利用者の前でやらなくても良いのではないかな。習慣になっている。
- ・身体拘束をする場合、最終手段にいくまでのアイデア、意見を考えるのも必要。
- ・

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
定期的に“虐待の芽チェックリスト”を活用し、日ごろのケアを振り返り、全体で振り返り機会をもち、『不適切ケア 0』を目指す。	